



2月24日 東地申第49号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の 申し入れ【池袋運輸区】団体交渉を行なう! その①

✓【共通】

1. 池袋運輸区の運転士・車掌の標準数を明らかにすること。

回答: 現業機関での柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、現業機関における業務量については、年間を通じた平均的な業務量の基準として、「変形等」「交代」「乗務員」の1日当たりの出面数(作業ダイヤ数)を「管理・一般」に分けて示すこととした。

組 合

- 必要な要員が確保されているのかが分からないため、標準数で示すべきだ。
- 職場では休日出勤が増加している。

会 社

- 柔軟な働き方の考えでは、今までの示し方ではそぐわないため、提案箇所体制で示している。また、必要な要員については責任をもって確保していく。

必要な要員については会社が責任をもって確保することを確認!

2. 池袋運輸区の運転士・車掌における、乗務員の業務等の見直しの変更点及び乗務員の労働時間の算定に向けた再実測の変更点について、以下の通り明らかにすること。

(1) 徒歩時間

① 各駅の詰所から乗継箇所 ② 各本区から乗継箇所(準備・整理)

(2) 入出区における時間

回答: 安全・安定輸送を確保しつつ、働きやすさの向上を図りながら見直しを行うものである。また、必要な労働時間は確保して行く考えである。

✓【運転士】

1. 行路によって周回数の偏りがあるため平準化すること。

回答: 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

- 行路によって周回数の偏りがあるため解消はできないのか? また、平日と休日で周回数に偏りが生じている。

- なぜこのような行路設定を行ったのか?

- 現場より内回りから外回りの渡りを少なくしてほしいという要望があったためこのような周回数としている。周回数に偏りはないという考えである。

- 渡り行路は輸送混乱時を考慮しなければならず、何が最適か引き続き考えていく。



2月24日 東地申第49号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の 申し入れ【池袋運輸区】団体交渉を行なう! その②



>> 1項の続き

- 休日の出勤時間が順番通りではないため、行路番号順の出勤にして欲しい。
- 全体的なバランスとはあるが何をみているのか?
- 今ダイヤ改正で本数の削減はどの程度あるのか?

- 列車ダイヤにより行路作成をしているのが前提としてある。泊地・入出区の時間などを逆算して出勤時間については設定をしている。引き続き全体のバランスをみて行路作成は行っていく。
- 周回数・乗務の中断時間をできるだけ同じにするようみている。入出区の時間もあることから逆算して行路は作成している。
- 本数を大幅に削減しているため、新規にダイヤを作成している。

2. 平日358行路1643G赤出区を青出区に、362行路972G、365行路960G、368行路961Gの赤入区を青入区とすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

- 提案からの変更点はあるのか?
- 1643Gと961Gが変更できた理由は何か?
- 全て東京総合車両センターの入出区である。池袋運輸区が担当する理由はあるのか?
- 入区・出区時に便乗が発生をすることから非効率な行路設定となっている。

- 1643Gは赤出区を青出区に、961Gは赤入区が青入区になっている。972G、960Gについて変更はない。
- JETSの作業ダイヤの調整を行った結果、変更となっている。
- 夕方のダイヤについては出区が2本増となりすべて外回りであることから大崎運輸区が担当すると偏りが生じる。朝の内回りの入区については区所から技量維持の観点から内回り・外回りとも設定をしてほしいという要望があった。
- 効率と技量維持のバランスをみながら行路は作成している。



2月24日 東地申第49号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の 申し入れ【池袋運輸区】団体交渉を行なう! その③



3. 平日364行路泊まり場面、平日356行路・358行路・364行路・374行路明け場面、大崎駅での行先地時間を池袋駅にすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

➤ 変更点は何かあるのか?

➤ 区所調整を行いすべてではないが、持ち替えを行い改善している。持ち替えの結果他の行路に大崎駅での行先地の時間が設定された行路がある。

✓【車掌】

1. 休日202行路の朝食を目的とした乗務の中断時間の確保、及び休日216行路・217行路の夕食を目的とした乗務の中断時間を確保すること。

回答:乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

➤ 食事時間の拡大はできないのか?

➤ 平日は乗務の中断時間は確保されているが、休日に特に偏りが発生をしている。

➤ 規程上食事時間ではないのでその考えに基づき行路は作成しているが、途中で行先地の時間を30分程度確保している。

➤ 列車ダイヤに左右されるものだが、山手線は休日の日中帯の本数が多いという特情もあり、このような行路設定となっている。

2. 平日217行路・休日215行路・休日216行路・休日217行路の日勤6周行路を5周行路とすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

➤ 検討したことは何かあるのか?

➤ どの程度減っているのか?

➤ 6周行路については、減らすよう引き続き検討して欲しい。

➤ 列車本数の削減により6周行路については減っている。

➤ 提案時ではあるが平日は7行路が1行路に休日は6行路が3行路になっている。休日は列車本数の削減が少ないためである。

➤ 意見としては理解をしている。区所での組み換えを行い調整はしている。